

# 環境会計

ゼロ・ディスチャージを達成 p8

物質収支 p10

エネルギー消費の抑制 p11

省エネルギー/CO<sub>2</sub>排出抑制への取り組み p12

汚染物質の抑制 p13

2001年度の工場別データ p16

古紙利用拡大への取り組み p18

環境展示会 p20

環境ラベル p22

環境会計 p24

## 目的

当社は、地球環境保全を重視した経営の一環として、1999年度より、環境会計を本格的に導入しました。環境保全コスト、環境保全投資、および環境保全効果について、金額あるいは物量で把握、分析し、それらを次の経営方針の策定に活用するとともに、環境情報として公開します。

## 導入方針

環境省「環境会計ガイドライン2002年版」に準拠しました。

適用範囲は、日本製紙株式会社のみで、グループ会社(関係会社)は含みません。

集計対象期間は、2001年4月1日から2002年3月31日。

環境保全コストと環境保全投資を、別々に表示しました。

環境保全効果の金額および物量は、原則として対前年度比としました。

## 環境保全コスト

(単位:百万円)

環境保全費用の分類	主な取り組み内容	費用額
1)事業エリア内コスト		
公害防止コスト		
大気汚染防止対策	大気汚染防止施設維持管理	1,881
水質汚濁防止対策	水質汚濁防止施設維持管理	5,208
騒音・振動・悪臭防止対策	騒音・振動・悪臭防止施設維持管理	285
地球環境保全コスト		
国内社有林事業	国内社有林維持管理	484
資源循環コスト		
製品リサイクル対策	古紙処理	製造費用に含む
廃棄物の処理・削減・リサイクル対策	廃棄物ゼロ(製品当たり最終処分量比率0.01%以下)をめざす	1,662
小計		9,520
2)上・下流コスト		
荷材リサイクル対策	パレットの回収・再生加工・廃棄処分	506
3)環境活動コスト		
	社員への環境教育ほか	22
	社内環境監査、環境委員会開催	5
	ISO14001認証取得、運用、管理ほか	15
小計		42
4)研究開発コスト		
	環境保全に関する研究開発	759
	紙パルプ研究所負担金	144
小計		903
5)社会活動コスト		
環境美化ほか	地域クリーン活動支援、植栽ほか	104
環境情報公開	環境報告書、エコプロダクツ2001出展、紙遊館運営ほか	59
小計		163
6)環境損傷コスト		
	公害健康補償賦課金(SO <sub>x</sub> )	679
合計		11,813

### 環境保全投資

(単位:百万円)

環境保全投資の分類	主な取り組み内容	投資額
1) 事業エリア内投資		
公害防止投資		
大気汚染防止対策	江津事業所硫黄燃焼設備更新	98
水質汚濁防止対策	石巻工場1KP(N材)ECF設備、小松島工場環境対策工事	1,799
地球環境保全投資		
海外植林事業	Tree Farm構想推進	1,599
省エネルギー	省エネルギー対策	746
資源循環投資		
廃棄物削減・リサイクル	旭川工場可燃物処理設備、勇払工場石炭灰造粒設備	105
古紙製造		
合計		4,347

(単位:百万円)

	投資額
当該期間の投資額の総額	3,320
当該期間の研究開発費の総額	6,030

### 環境保全効果

(単位:百万円)

環境保全効果の分類	主な効果の内容	効果額
1) 事業エリア内効果		
・第2次有害大気汚染物質の削減効果	ホルムアルデヒド排出削減 2.0t(51.3%)	
・紙パルプ部門重点対策工場(対1999年度)	クロロホルム排出削減 46.3t(25.2%)	
	ベンゼン排出削減 26.2t(74.5%)	
・海外植林事業(Tree Farm構想)効果	植林面積増加 37,969ha(累計72,260ha)	
・省エネルギー対策効果	燃料削減 27,610k(重油換算)	504
	炭酸ガス削減 22,173t(炭素換算)	
・廃棄物の有効利用効果	製品当たり最終処分量比率 0.04%	962
小計		1,466
2) 上・下流効果		
・製品等のリサイクル効果	古紙利用率 32.0% 33.5%	
古紙使用増加効果	古紙使用増加率 0.5%(5kt再資源化効果)	
回収パレット活用効果	パレット回収率 44.9%:差額	811
3) その他の効果		
・研究開発効果	西豪州コリー市に森林資源研究室分室建設、精英樹選抜中ユーカリへの適用に優れたMATベクターシステム開発 勇払工場オゾンECF操業立ち上げ支援 釧路工場の新聞用紙へのDIP配合70%達成支援 嵩高印刷用紙の開発 再生可能な防湿紙モイブルの改良 地域クリーン活動 社有林活用研究会活動	
・社会活動効果		
合計		2,277

年間効果額を計上

### 環境関連投資

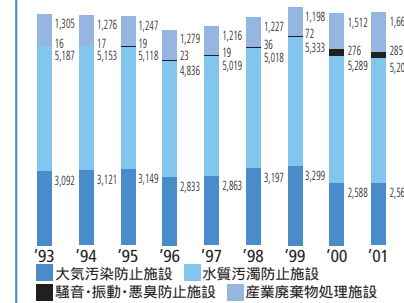
#### 環境関連設備投資

(単位:百万円)

完成年度	工場	工事内容	金額
1993	釧路八代	石炭ボイラー新設	3,400
		石炭ボイラー新設	17,600
1994	勇払石巻八代	石炭ボイラー新設	9,000
		KP収率向上対策	1,424
		最終処分場造成	852
1997	都島岩国八代	ガスタービン設置	2,100
		回収ボイラー建設	18,000
		スラッジボイラー新設	1,200
1998	釧路旭川石巻岩国小松島	DIP設備増強	6,700
		排水処理設備増強	861
		中性抄紙化対策	2,880
		電解製法転換	1,470
		F-DIP新設	1,763
1999	石巻石巻	DIP設備増強	4,310
		排水処理設備増強	1,630
2000	勇払	オゾンECF漂白設備導入	1,440
2001	勇払石巻伏木岩国八代	DIP設備増強	1,550
		二酸化塩素ECF漂白設備導入	3,300
		スラッジ焼却炉更新	880
		スラッジ焼却炉更新	1,160
		DIP設備増強・品質向上対策	1,210

#### 公害防止コスト

(百万円)



1999年度より悪臭防止費用を計上しました。